（昭和七年六月十五日 第三種郵便物認可）

夕刊

二月八日

發行兼編輯人 伊藤藤次
印刷人
福島縣平南町六七
發行所 常磐新聞社
日刊但日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月 三十錢
廣告料 一行 五十錢

郡農會後任會長
驚清昇氏に決定
新豫算は一萬二千六十六圓

後任會長を選任すべき郡農會總會は今八日午前十時より平團体事務所に開き、副會長驚清昇氏の昇格を決定した

なほ十三年度新豫算總額は一万二千六十六圓で十二年度より百圓增、新事業の主たるものは郡下各町村に於ける養兎事業の改善向上でこれが奬勵金として百圓を計上

前線銃後の感激篇
兒童の教育資料に
教育部會で編算

石城教育部會では會員八百名を動員前線銃後から事蹟が生んだ美談佳話を蒐集これを編纂して兒童の教育資料に充て國民精神總動員を強調することになつた

幹部會延期
管内消防春期檢閲は四月

平署管内消防組頭會は昨報の如く七日同署會議室に開き、管内幹部會は郡合で十五年に延期することになつた、なほ春期檢閲は四月磐中グランドで執行

婦人も
有資格者
市農會惣市代選擧

平農會惣代選擧は來る二十七日市内平陽女業校で行はれる

惣代は三十二名で舊平町から十六名舊平窪村から十六名宛選出することになり選擧有資格者は農會費納入者千二百名、婦人も選擧權を有してゐる

人妻家出
同居人と

水戸市東町五〇一〇古物商長山卯太郎妻と（サ四六）は去る一日集金に出かけたまゝ行方を晦したが同居人竹刀製造業水竹榮一（三七）と共謀らしく男の知合のある平方面に潛伏してゐるかも知れないと卯之太郎さんから八日平署へ捜査方を願出た

家出平市立町市之助二男桶職鈴木武（三六）は去る一日夜無斷家出、八日市之助氏から平署へ捜査願

遠洋漁船經營協議會
けふ小名濱漁業組合で

二月八日午前十時より小名濱漁業組合にては幹部會を開き、東北振興會社より小名濱漁業組合に遠洋漁船一隻の經營を一任されたに就れが決定を見る模樣に傾いてゐる

因に同漁船は目下下關にて建造中にあり今秋は小名濱港に廻航の筈である

海軍志願兵檢査
小名濱から武、名合格

昨七日平市で執行された海軍志願兵檢査に小名濱町では鈴木五郎、吉田廣の兩君は共に合格した

飛行演習
太田原仙臺間
八日から五日間
小名濱上空飛翔

栃木縣熊谷陸軍飛行學校金丸原分教場飛行機約十臺は二月八より五日間太田原、水戸、小名濱、仙臺間の翔破演習をなす爲め不時着陸場たる小名濱町に挨拶があつた

遺家族慰安映畫會
あす平市青年團で

平市青年團は九日夜同市聚樂館で市内出身應召兵遺家族慰安の映畫會を開催

未教育補充兵査閲
江名校で貳町六ヶ村を執行

江名町外一町六ヶ村の未教育補充兵の査閲は來る二月二十二日江名校に於て福島縣聯隊區司令官竹原大佐が行ふが前日は午後六時より江名校に於ては時局講演會を開催する筈である

平市公會堂
上棟式
十六日擧行

工費八萬圓で昨年夏工事に着手した平公會堂は其の後順調に進捗來る十六日上棟式を擧行する竣工は三月中の豫定

カフエーで亂暴
久之濱町

江名町一町六ヶ村の未教育補充兵の査閲は來る二月七日夜酩酊して平市三丁目カフエーバッカスに現れ酒を強要して亂暴中平署員に取押へられた、健治は飲酒運轉手を殴り傷を負はせたもの

官印破毀
内郷の材木商留置

内郷村綴材木商渡邊義雄（三九）は去る十一日平市中町の同業者佐川芳太郎氏から材木の假差押へを受けたがその中から三十圓分の材木を他に賣却してしまつたので佐川氏は平署に保管物横領で告訴其の後示談が成立告訴を取下げたが平署では引續き渡邊を官印破毀で取調べてゐる

養狸座談會
乾産業の發起で

近來めつきり殖へた養狸業者の智識分配の爲め乾産業吉田氏發起の下に業者約二十名は此程平町とらや旅館に會合座談會を開催したが

吉田昌弘、鈴木貞平諸氏の有益なる体驗談あり而して本郡内一丸とせる養狸組合の設立を協議し大いに狸の皮算用をなした

吉田入山坑務所長

入山採炭株式會社坑務所長吉田宗雄氏は過般來病氣のため附屬病院に入院加療中だつたが七日午後三時四十分遂に永眠した享年五十一氏は明治二十一年熊本縣天草郡上村に生れ東京帝國大學法科大學獨逸法律科を卒業後大正八年入山に入社、大正十五年露領森林利權交渉隨員として露都モスコーに滯在、後歐洲各地の視察をなし昭和五年坊務所長に任命され一昨十一年取締役に任したもので御業員の信望を一身にあつめてゐた

入山採炭株式會社取締役坑務所長吉田宗雄儀豫テ病氣ノ處本月七日午後三時四十分福島縣湯本町坑務所ニ於テ死去致シ候間此段謹告仕候

追テ葬儀ハ本月十日午後二時坑務所自治會館ニ於テ社葬ヲ以テ執行可仕候

昭和十三年二月八日

男　吉田宗孝
親戚一同
入山採炭株式會社

賣却廣告

一、古機械反古鐵材（約五百五十貫匁）
一、食油用空ドラム罐（約十五本）
右は來る十日午前十時入札を以て賣却す
昭和十三年二月七日
小名濱町
日本水産株式會社
小名浜凍工場

家政婦會員多數募集

各家庭より家政婦の申込みは澤山ありますが會員が不足でその全部を充す事が出來ませんのでこの際會員多數を募集致します、常には各家庭に居つて會が入用の際に相談に參ります、會員として帳面に載つて居れば居ながらにして希望な仕事にありつけます奮つて申込み下さい

久保田家政婦會
産婆　久保田イネ
小名濱町　電話廿二番

巷の聲

出初式の松本組頭の挨拶

壯者を凌ぐ元氣と自信があると宣ふ

二月六日小名濱消防組では出初式を擧行した型の如く諸行事を午前中に片付け午後二時より恒例に依り新米員は御座なりの据置き事務に於て組幹部並に來賓の慰勞の宴を張つたが、席上松本組頭の挨拶は實に自信に充ちたものがあり、列席者は翁の字を冠される年齢のは望まれるものでない、松本氏よりあの元氣に溢れた言辭を洩された事に對しては一寸、啞然たる雰圍氣に包まれた樣子だつた曰く「東天に陽光を待つ位の新味を見せるかと思へば相變らず沈香もたかねは屁もしらり飛起きて大いに活動してすの十年一日の沈滯さである、横着心などは一寸の持合せもない、各位にも今の如く最り不平や不滿を總後大に鞭韃して本組の爲めに力を添へて欲しい」と結んで居るがあの御挨拶では松本組頭の在職は五年位の蓋命は大丈夫、あると座間のさゝやきで松本ファンはは感心するやらあきれるや氣では御隱居になれと言ふら、どんびんにぎる強大さても承知もしまいし、退屈もするだらう、役に立つ內は第一線に活動させる事も人物經濟でもあり本人も滿足する事なのだから、大いに松本氏としても自愛して邦家非常時のみぎり職業奉公の大任を果されん事を切望して健在を祈るものである

× × ×

少しの新味も見せぬ信用組合役員

大小名濱町の唯一たる金融機關として信用組合の中樞部に少しの變化もなく十年一日の如くくすぶた雰圍氣を脫する事が出來ないで役員は御座なりの据置き事務局的に見た時に何時も新味本組頭の挨拶は實に自信に即ち改善斷行などの大小名濱町に先驅し誘導する事なそんな意味で今回の幹事並に評定委員位も少々は新人を加へてルツボの域を脫し東天に陽光を待つ位の新味を見せるかと思へば相變らず沈香もたかねは屁もしらの十年一日の沈滯さである、恰もしゆう長下の行事如く最り不平や不滿を總會で喋々すれば後に金借りに行つても兎や角と支障を來す怖れがある、沈默は金なり、の筆法で何一つの注文も不平も洩らさず御雛樣を並べた樣な御行儀良さには感心するやらあきれるや並人し味ら名、

募集

撒水自動車運轉兼常備消防手・一名

希望條件

一　消防事業に貢獻せんとする者
一　三ヶ年以上運轉手をなしたる者
一　平市及び近村出身の者
一　詰所附近に住居し得る者

右希望者は常詰所宛履歷書を提出されたし

平消防組

耳鼻咽喉科專門

レントゲン科

高柳醫院

平市驛前（電三三六）

醫學博士　高柳博明

新春の裝ひが出來ました。楚々たる女給のサービスで、是非……々々

カフエー　末廣

小名濱下横町へ

舊年末の宅扱と小口扱貨物は混合ひますから早目に

磐城海岸軌道線指定

小名濱運送株式會社

小名濱本店　電話一〇六番
泉驛出張所　電話十五番
江名濱出張所　電話一二八番

藥……衛生材料

寶屋藥局

小名濱町

ドーコレルードリポ

目下賣出し中

上海だより
おしどり道中
勇士の純情
愛國行進曲

其他大衆盤種々入荷

內山時計店

電話四九番

一歩二歩と健實なる歩みを續ける庶民金融界の王座

磐城無盡を御活用下さい

小名濱町出張所

小川爲八郎

〝壽しの味覺〟

江戸前小料理
銘酒は生一本

杵すし支店

小名濱町中島通り
電話四十八番

電氣工事一切免許

⊙ラヂオ
⊙電氣器具
⊙電氣メートル工事請負

電機部

小名濱町本町
高橋スタヂオ

◆調味料として最も經濟的で滋養と美味に富み便利なる

御節

を御用命願ひ上げます

製造元　小賣

馬上與八商店

小名濱小學校前

口腔外科
齒科一般

森合齒科

院長　森合芳男

電話植田七十一番

募集

技工師見習二名採用

年齡十六歲以上

希望者は本人又は保護者來談のこと

小名濱町仲町

鈴木齒科醫院

院長　鈴木正

內臟外科　レントゲン科
肛門病科　皮膚科
花柳病科　泌尿器科

北川外科

⊠診療晝夜
⊠入院隨時
【血液檢査毎日】

平市新川町（電話四六四番）
醫學博士　北川芳夫
技師　三浦常保

季節珍味

小鳥料理

鐵道省指定旅館

割烹　小瀧

小名濱町郊外
電話小名濱一〇三番